

令和4年度 第2回 高知支部評議会

## 高知支部の課題と今後の取組について

令和5年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定  
に向けた意見交換

令和4年10月24日

# 現状評価シート（高知支部）

## 医療費情報

### 医療費3要素（診療種別）

#### <総計（入院・入院外・歯科）>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	191,112.6	186,587.5	7,959.8	7,850.3	1.59	15,071.6
2020	188,272.2	183,409.1	7,374.2	7,262.4	1.59	16,099.4
2021	199,479.7	194,369.2	7,802.6	7,681.9	1.56	16,425.9

#### <入院>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	60,376.4	58,649.5	117.1	115.1	10.48	49,185.1
2020	60,376.9	58,495.2	110.7	108.7	10.61	51,405.8
2021	63,519.2	61,562.5	114.7	112.7	10.26	53,941.3

#### <入院外>

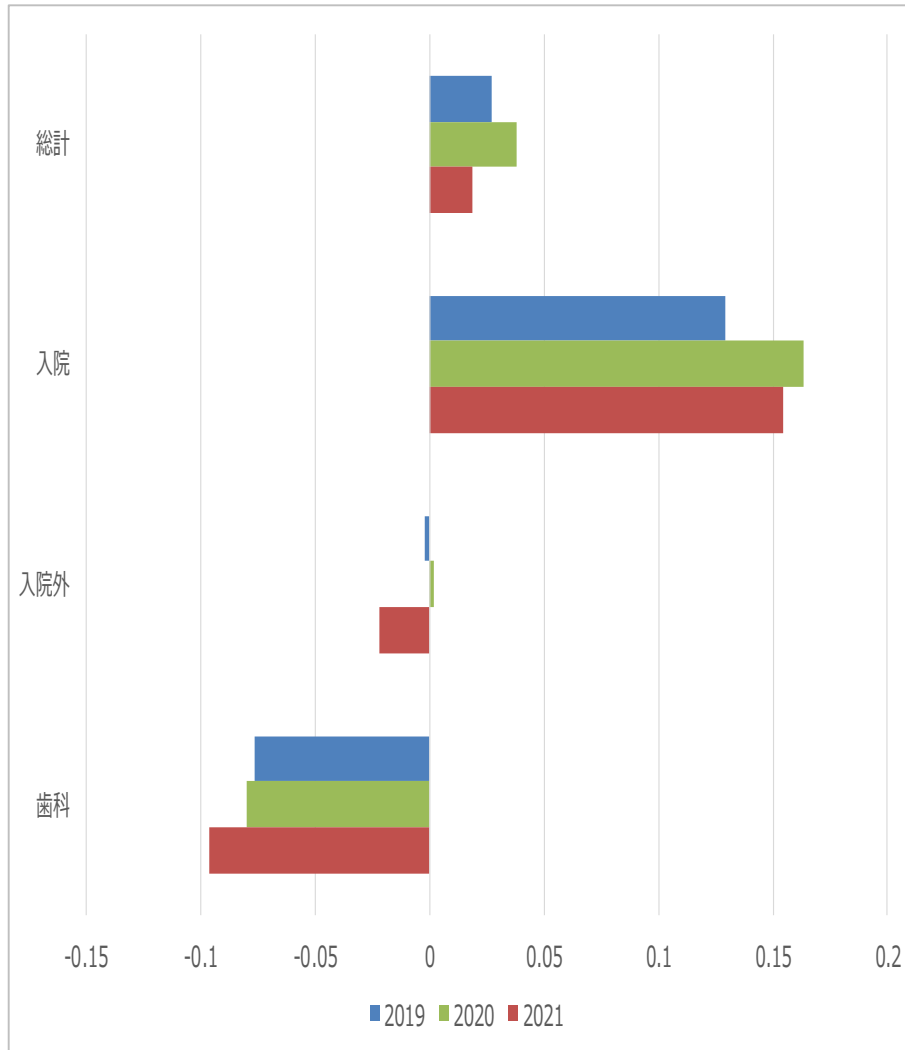
年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	111,685.6	109,102.0	6,253.7	6,162.8	1.40	12,739.8
2020	108,472.1	105,711.6	5,736.2	5,641.9	1.39	13,640.3
2021	116,012.5	113,081.1	6,074.3	5,973.1	1.38	13,873.2

#### <歯科>

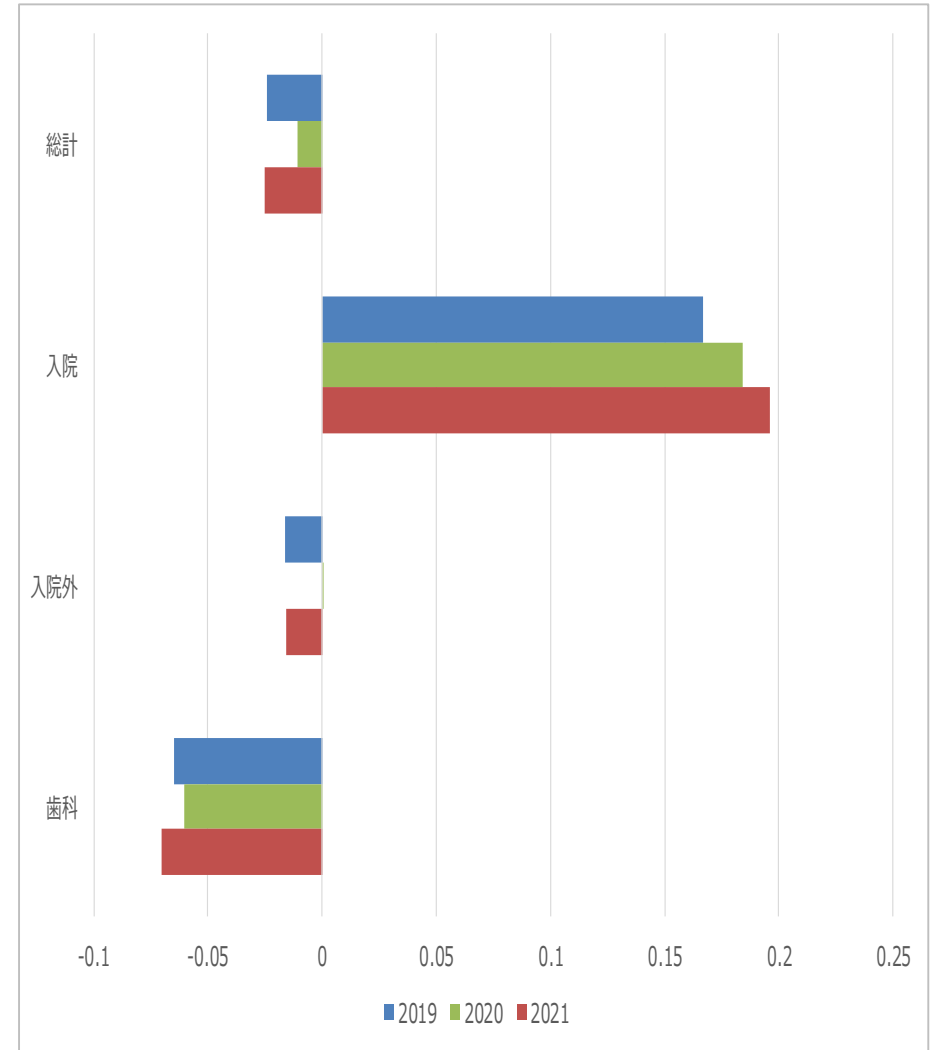
年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	19,050.6	18,836.0	1,589.1	1,572.4	1.69	7,092.3
2020	19,423.3	19,202.3	1,527.3	1,511.8	1.68	7,564.9
2021	19,947.9	19,725.6	1,613.5	1,596.1	1.61	7,659.7

## 医療費情報

### 1人当たり医療費の地域差指数-1



### 受診率の地域差指数-1



## 医療費情報

### 疾病分類別一人当たり医療費について

#### 2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度（疾病分類が不明なものを除く。）

##### <入院>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	0.001	0.000	0.003	0.002	0.007	0.019	0.005	0.002	0.008	0.003
2020	0.005	0.012	▲ 0.001	▲ 0.000	0.013	0.025	0.003	0.002	0.026	0.003
2021	0.003	0.013	0.004	▲ 0.000	0.008	0.020	0.005	0.003	0.022	0.005

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2019	0.002	0.004	0.017	0.006	0.006	0.015	0.003	0.002	0.020	▲ 0.000
2020	0.004	0.002	0.020	0.007	0.008	0.021	▲ 0.005	0.003	0.019	▲ 0.003
2021	0.008	0.004	0.021	0.007	0.008	0.008	0.000	0.003	0.024	▲ 0.011

##### <入院外>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.005	▲ 0.008	▲ 0.001	▲ 0.006	0.003	0.002	▲ 0.005	0.003	0.012	▲ 0.011
2020	▲ 0.004	▲ 0.006	▲ 0.001	▲ 0.009	0.004	0.001	▲ 0.004	0.002	0.012	▲ 0.003
2021	▲ 0.002	▲ 0.007	0.000	▲ 0.011	0.003	0.001	▲ 0.006	0.002	0.008	▲ 0.007

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2019	▲ 0.004	▲ 0.007	0.020	0.004	▲ 0.000	0.001	0.001	▲ 0.003	0.000	▲ 0.000
2020	▲ 0.005	▲ 0.008	0.021	0.004	0.000	0.001	0.002	▲ 0.003	0.000	▲ 0.003
2021	▲ 0.006	▲ 0.007	0.018	0.005	0.000	0.001	0.002	▲ 0.005	▲ 0.000	▲ 0.011

※1 地域差指数は年齢調整後のものである。

※2 疾病が不明のものは掲載していないため、各疾病の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別（入院・入院外）の1人当たり医療費の地域差指数-1に一致しない場合がある。

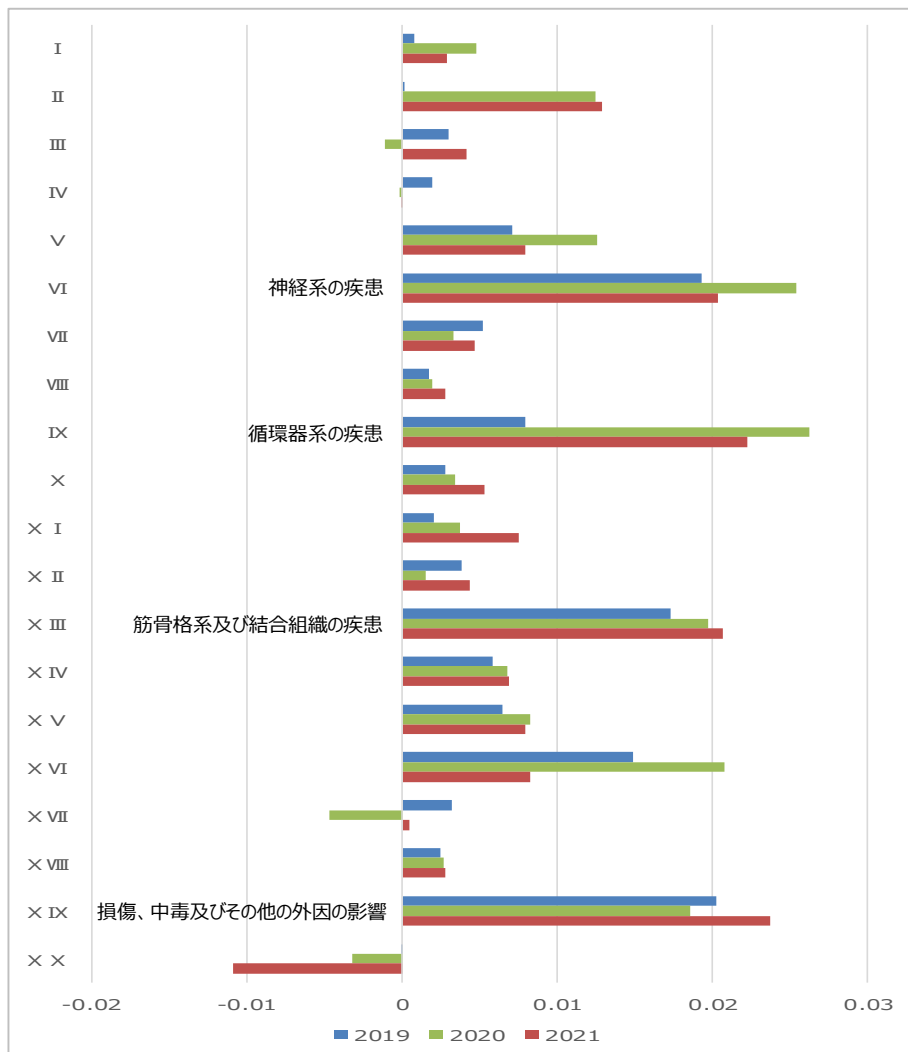
#### 2-3. 診療時間外受診の加入者1人当たり算定回数の地域差指数-1

年度	初診	再診
2019	▲ 0.238	▲ 0.454
2020	▲ 0.167	▲ 0.403
2021	▲ 0.175	▲ 0.413

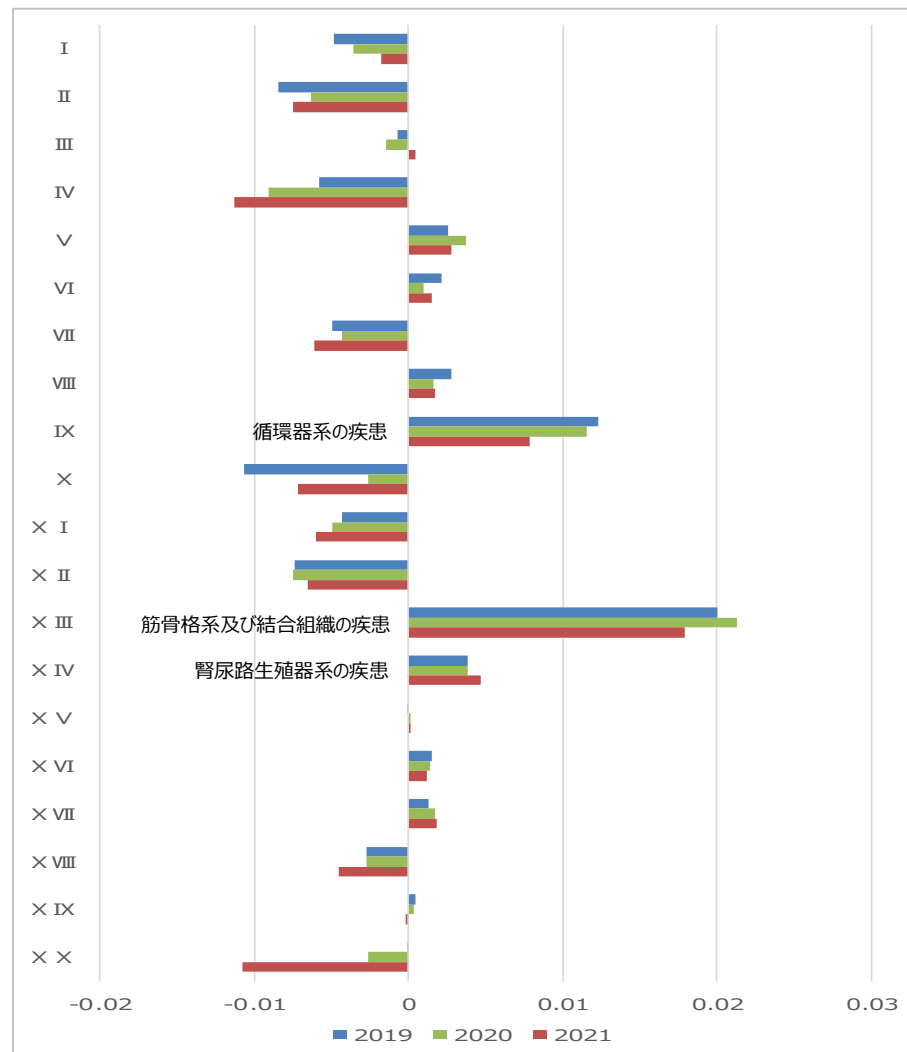
※ 地域差指数は年齢調整後のものである。

## 医療費情報

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院)



疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)



I 感染症及び寄生虫症、II 新生物、III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機能の障害、IV 内分泌、栄養及び代謝疾患、V 精神及び行動の障害、VI 神経系の疾患、VII 眼及び付属器の疾患、VIII 耳及び乳様突起の疾患、IX 循環器系の疾患、X 呼吸器系の疾患、XI 消化器系の疾患、XII 皮膚及び皮下組織の疾患、X III 筋骨格系及び結合組織の疾患、X IV 腎尿路生殖器系の疾患、X V 妊娠、分娩及び産じょく、X VI 周産期に発生した病態、X VII 先天奇形、変形及び染色体異常、X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの、X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響、X X 特殊目的コード

# 現状評価シート（高知支部）

## 医療費情報

### 業態別一人当たり医療費について

業態別 1 人当たり医療費の地域差指数 - 1 の寄与度 <入院>

<入院>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.012	0.004	0.029	0.005	▲ 0.006	0.002	▲ 0.001	0.001	0.009	▲ 0.004
2020	0.013	0.001	0.025	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.002	0.002	0.003	0.006	▲ 0.006
2021	0.011	0.005	0.031	▲ 0.005	▲ 0.006	0.002	▲ 0.001	0.004	0.012	▲ 0.004

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.008	▲ 0.010	▲ 0.022	▲ 0.006	0.001	▲ 0.001	▲ 0.015	▲ 0.007	0.022	0.008
2020	▲ 0.007	▲ 0.008	▲ 0.019	▲ 0.005	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.008	0.026	0.010
2021	▲ 0.009	▲ 0.008	▲ 0.016	▲ 0.003	0.000	▲ 0.004	▲ 0.004	▲ 0.013	0.026	0.013

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	0.009	0.002	0.000	▲ 0.011	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.011	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.005
2020	0.017	0.002	0.002	▲ 0.012	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.004	0.003	▲ 0.005
2021	0.020	0.003	0.001	▲ 0.014	0.001	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.001	0.002	▲ 0.000

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.003	▲ 0.001	0.064	0.011	0.023	▲ 0.024	▲ 0.016	▲ 0.003	0.002	0.002
2020	0.005	▲ 0.004	0.070	0.015	0.018	▲ 0.026	▲ 0.014	0.000	0.001	0.000
2021	0.004	▲ 0.004	0.077	0.006	0.015	▲ 0.027	▲ 0.014	▲ 0.001	▲ 0.001	0.005

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.009	0.009
2020	▲ 0.008	0.016
2021	▲ 0.007	0.016

- ※ 1 被保険者のみを集計対象としている。
- ※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。
- ※ 3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数 - 1 の寄与度の合計は診療種別（入院・入院外）の被保険者 1 人当たり医療費の地域差指数 - 1 に一致しない場合がある。

## 医療費情報

### 業態別 1 人当たり医療費の地域差指数 - 1 の寄与度 <入院>



1 農林水産業、2 鉱業・採石業・砂利採取業、3 総合工事業、4 職別工事業、5 設備工事業、6 食料品・たばこ製造業、7 繊維製品製造業、8 木製品・家具等製造業、9 紙製品製造業、10 印刷・同関連産業、11 化学工業・同類似業、12 金属工業、13 機械器具製造業、14 その他の製造業、15 電気・ガス・熱供給・水道業、16 情報通信業、17 道路貨物運送業、18 その他の運輸業、19 卸売業、20 飲食料品以外の小売業、21 飲食料品小売業、22 無店舗小売業、23 金融・保険業、24 不動産業、25 物品賃貸業、26 学術研究機関、27 専門・技術サービス業、28 飲食店、29 宿泊業、30 対個人サービス業、31 娯楽業、32 教育・学習支援業、33 医療業・保健衛生、34 社会保険・社会福祉・介護事業、35 複合サービス業、36 職業紹介・労働者派遣業、37 その他の対事業所サービス業、38 修理業、39 廃棄物処理業、40 政治・経済・文化団体、41 その他のサービス業、42 公務

# 現状評価シート（高知支部）

## 医療費情報

業態別 1人当たり医療費の地域差指数 - 1の寄与度 <入院外>

<入院外>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.012	0.003	0.017	▲ 0.007	▲ 0.007	0.000	▲ 0.002	0.000	0.009	▲ 0.004
2020	0.012	0.003	0.016	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.000	▲ 0.001	0.000	0.008	▲ 0.005
2021	0.011	0.002	0.013	▲ 0.006	▲ 0.008	▲ 0.001	▲ 0.001	0.000	0.008	▲ 0.004

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.007	▲ 0.010	▲ 0.020	▲ 0.006	0.000	▲ 0.005	▲ 0.012	▲ 0.013	0.013	0.005
2020	▲ 0.007	▲ 0.008	▲ 0.020	▲ 0.006	0.001	▲ 0.004	▲ 0.014	▲ 0.014	0.013	0.007
2021	▲ 0.007	▲ 0.008	▲ 0.018	▲ 0.005	▲ 0.000	▲ 0.004	▲ 0.013	▲ 0.013	0.011	0.003

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30对个人サービス業
2019	0.010	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.015	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.015	▲ 0.007	▲ 0.000	▲ 0.005
2020	0.009	▲ 0.000	▲ 0.002	▲ 0.017	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.015	▲ 0.007	▲ 0.001	▲ 0.004
2021	0.011	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.016	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.016	▲ 0.007	▲ 0.001	▲ 0.005

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.000	▲ 0.006	0.077	0.006	0.019	▲ 0.032	▲ 0.016	▲ 0.001	▲ 0.000	0.002
2020	0.000	▲ 0.006	0.077	0.006	0.018	▲ 0.031	▲ 0.015	▲ 0.001	▲ 0.000	0.003
2021	0.001	▲ 0.006	0.070	▲ 0.000	0.018	▲ 0.033	▲ 0.015	▲ 0.001	▲ 0.001	0.003

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.010	0.019
2020	▲ 0.010	0.021
2021	▲ 0.010	0.021

※ 1 被保険者のみを集計対象としている。

※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※ 3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数 - 1の寄与度の合計は診療種別（入院・入院外）の被保険者 1人当たり医療費の地域差指数 - 1に一致しない場合がある。



# 現状評価シート（高知支部）

## 医療費情報

業態別 1人当たり医療費の地域差指数 - 1の寄与度 <入院外>



1 農林水産業、2 鉱業・採石業・砂利採取業、3 総合工事業、4 職別工事業、5 設備工事業、6 食料品・たばこ製造業、7 繊維製品製造業、8 木製品・家具等製造業、9 紙製品製造業、10 印刷・同関連産業、11 化学工業・同類似業、12 金属工業、13 機械器具製造業、14 その他の製造業、15 電気・ガス・熱供給・水道業、16 情報通信業、17 道路貨物運送業、18 その他の運輸業、19 卸売業、20 飲食料品以外の小売業、21 飲食料品小売業、22 無店舗小売業、23 金融・保険業、24 不動産業、25 物品賃貸業、26 学術研究機関、27 専門・技術サービス業、28 飲食店、29 宿泊業、30 対個人サービス業、31 娯楽業、32 教育・学習支援業、33 医療業・保健衛生、34 社会保険・社会福祉・介護事業、35 複合サービス業、36 職業紹介・労働者派遣業、37 その他の対事業所サービス業、38 修理業、39 廃棄物処理業、40 政治・経済・文化団体、41 その他のサービス業、42 公務

# 現状評価シート（高知支部）

## 健診情報

### 健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勧奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2019	64.0%	7.6%	24.1%	21.5%	9.7%	420
2020	63.6%	8.1%	23.0%	19.0%	9.4%	507
2021	65.7%	6.1%	27.8%	23.8%	9.6%	616

※ 「勧奨後3月以内受診率」の2021年度について、レセプトによる受診状況が確認できる2021年7月健診受診分（2022年1月発送分）までを集計対象としている。

### 生活習慣病リスク保有率と問診結果による生活習慣要改善者の割合

年度	①メタボリックシンドロームのリスク保有率		②メタボリックリスク予備群の割合		③腹囲のリスク保有率		④血圧のリスク保有率		⑤脂質のリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	16.2%	0.042	13.1%	▲ 0.037	36.5%	▲ 0.011	41.6%	▲ 0.008	28.3%	▲ 0.018
2020	16.6%	▲ 0.001	13.2%	▲ 0.057	36.5%	▲ 0.041	43.7%	▲ 0.012	28.2%	▲ 0.055
2021	17.4%	0.057	13.2%	▲ 0.042	37.5%	▲ 0.006	44.2%	▲ 0.001	28.2%	▲ 0.042

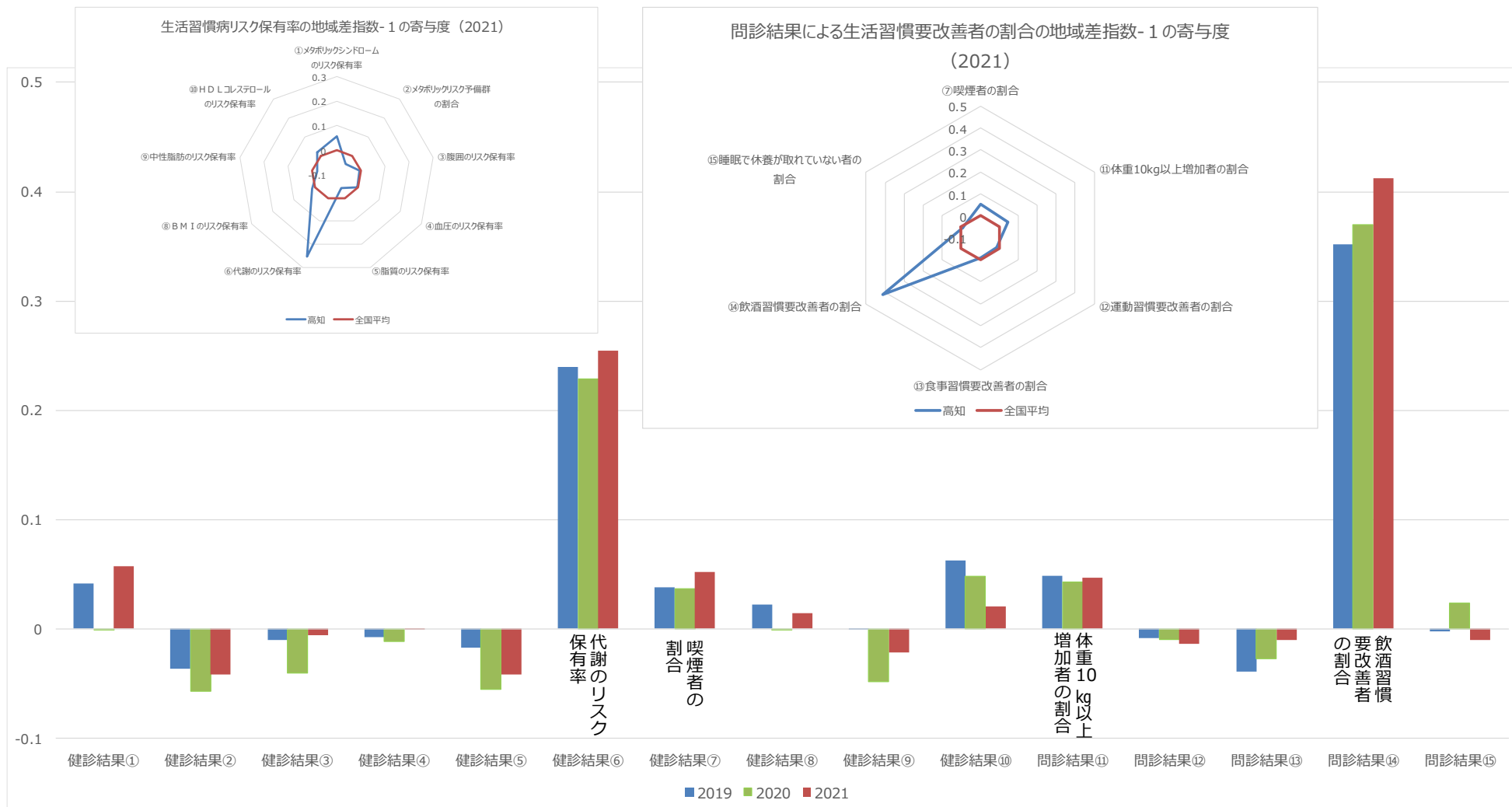
年度	⑥代謝のリスク保有率		⑦喫煙者の割合		⑧BMIのリスク保有率		⑨中性脂肪のリスク保有率		⑩HDLコレステロールのリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	18.7%	0.240	33.8%	0.038	31.7%	0.022	20.9%	▲ 0.000	5.6%	0.062
2020	18.9%	0.229	32.7%	0.037	32.3%	▲ 0.000	20.6%	▲ 0.048	5.6%	0.048
2021	19.5%	0.255	32.5%	0.052	32.6%	0.014	20.1%	▲ 0.022	5.3%	0.020

年度	⑪体重10kg以上増加者の割合		⑫運動習慣要改善者の割合		⑬食事習慣要改善者の割合		⑭飲酒習慣要改善者の割合		⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	43.4%	0.048	69.4%	▲ 0.009	52.3%	▲ 0.040	19.0%	0.352	40.3%	▲ 0.003
2020	44.1%	0.043	69.0%	▲ 0.010	51.0%	▲ 0.027	18.5%	0.370	37.5%	0.023
2021	44.4%	0.046	68.2%	▲ 0.014	52.3%	▲ 0.010	18.3%	0.413	36.5%	▲ 0.011

※ 1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。  
 ※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。

## 健診情報

### 生活習慣病リスク保有率と問診結果による生活習慣要改善者の割合の地域差指数- 1 の寄与度



①メタボリックシンドロームのリスク保有率、②メタボリックリスク予備群の割合、③腹囲のリスク保有率、④血圧のリスク保有率、⑤脂質のリスク保有率、⑥代謝のリスク保有率、⑦喫煙者の割合、⑧BMIのリスク保有率、⑨中性脂肪のリスク保有率、⑩HDLコレステロールのリスク保有率、⑪体重10kg以上増加者の割合、⑫運動習慣要改善者の割合、⑬食事習慣要改善者の割合、⑭飲酒習慣要改善者の割合、⑮睡眠で休養が取れていない者の割合

# 現状評価シート（高知支部）

## 健診情報

### 業態別リスク保有率の地域差指数－1の寄与度〈血圧〉

#### 〈血圧のリスク保有率〉

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2019	0.007	0.002	0.041	0.003	▲ 0.006	▲ 0.011	0.002	0.002	0.014	▲ 0.005
2020	0.008	0.002	0.035	0.000	▲ 0.006	▲ 0.011	0.001	0.002	0.017	▲ 0.005
2021	0.007	0.004	0.036	0.004	▲ 0.008	▲ 0.009	0.002	0.002	0.016	▲ 0.005

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食品以外の小売業
2019	▲ 0.010	▲ 0.007	▲ 0.032	▲ 0.011	▲ 0.001	0.000	▲ 0.006	▲ 0.007	0.040	0.009
2020	▲ 0.009	▲ 0.008	▲ 0.027	▲ 0.010	▲ 0.001	0.002	▲ 0.015	▲ 0.009	0.031	0.009
2021	▲ 0.008	▲ 0.008	▲ 0.026	▲ 0.010	▲ 0.001	0.002	▲ 0.011	▲ 0.007	0.036	0.013

年度	21飲食品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30对个人サービス業
2019	0.008	0.003	0.000	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.009	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.002
2020	0.012	0.003	▲ 0.000	▲ 0.009	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.003
2021	0.009	0.003	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.009	▲ 0.006	▲ 0.002	▲ 0.002

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	▲ 0.001	▲ 0.002	0.015	0.003	0.014	▲ 0.015	▲ 0.003	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.000
2020	▲ 0.000	▲ 0.001	0.036	0.002	0.013	▲ 0.017	▲ 0.013	▲ 0.001	▲ 0.003	▲ 0.001
2021	0.001	▲ 0.003	0.025	0.004	0.013	▲ 0.018	▲ 0.007	▲ 0.001	▲ 0.004	▲ 0.000

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.011	▲ 0.010
2020	▲ 0.011	▲ 0.010
2021	▲ 0.011	▲ 0.011

※ 1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※ 3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数－1の寄与度の合計は血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数－1に一致しない場合がある。

### 業態別リスク保有率の地域差指数－1の寄与度＜血压＞



1 農林水産業、2 鉱業・採石業・砂利採取業、3 総合工事業、4 職別工事業、5 設備工事業、6 食料品・たばこ製造業、7 繊維製品製造業、8 木製品・家具等製造業、9 紙製品製造業、10 印刷・同関連産業、11 化学工業・同類似業、12 金属工業、13 機械器具製造業、14 その他の製造業、15 電気・ガス・熱供給・水道業、16 情報通信業、17 道路貨物運送業、18 その他の運輸業、19 卸売業、20 飲食料品以外の小売業、21 飲食料品小売業、22 無店舗小売業、23 金融・保険業、24 不動産業、25 物品賃貸業、26 学術研究機関、27 専門・技術サービス業、28 飲食店、29 宿泊業、30 対個人サービス業、31 娯楽業、32 教育・学習支援業、33 医療業・保健衛生、34 社会保険・社会福祉・介護事業、35 複合サービス業、36 職業紹介・労働者派遣業、37 その他の対事業所サービス業、38 修理事業、39 廃棄物処理業、40 政治・経済・文化団体、41 その他のサービス業、42 公務

# 現状評価シート（高知支部）

## 健診情報

### 業態別リスク保有率の地域差指数－1の寄与度＜脂質＞

＜脂質のリスク保有率＞

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2019	0.006	0.002	0.029	0.007	▲ 0.006	▲ 0.009	0.002	▲ 0.000	0.012	▲ 0.006
2020	0.007	0.001	0.022	0.001	▲ 0.009	▲ 0.010	0.000	▲ 0.000	0.016	▲ 0.005
2021	0.005	0.003	0.026	0.005	▲ 0.010	▲ 0.011	▲ 0.000	0.001	0.017	▲ 0.005

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.009	▲ 0.006	▲ 0.032	▲ 0.010	▲ 0.001	0.003	▲ 0.006	▲ 0.007	0.040	0.011
2020	▲ 0.009	▲ 0.008	▲ 0.032	▲ 0.010	▲ 0.003	0.005	▲ 0.015	▲ 0.009	0.025	0.011
2021	▲ 0.009	▲ 0.007	▲ 0.028	▲ 0.010	▲ 0.001	0.002	▲ 0.012	▲ 0.007	0.031	0.014

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	0.008	0.002	▲ 0.001	▲ 0.011	▲ 0.000	▲ 0.002	▲ 0.013	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.002
2020	0.008	0.003	▲ 0.000	▲ 0.009	▲ 0.000	▲ 0.002	▲ 0.014	▲ 0.004	0.000	▲ 0.003
2021	0.008	0.003	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.013	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.003

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	▲ 0.003	▲ 0.003	0.013	0.008	0.010	▲ 0.014	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.000	0.001
2020	▲ 0.002	▲ 0.002	0.037	0.000	0.011	▲ 0.017	▲ 0.016	▲ 0.002	▲ 0.004	0.001
2021	▲ 0.000	▲ 0.004	0.022	0.001	0.011	▲ 0.018	▲ 0.009	▲ 0.002	▲ 0.003	0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.011	▲ 0.010
2020	▲ 0.011	▲ 0.009
2021	▲ 0.012	▲ 0.008

※ 1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※ 3 任意継続のものと及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数－1の寄与度の合計は血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数－1に一致しない場合がある。

### 業態別リスク保有率の地域差指数－ 1 の寄与度 <脂質>



1 農林水産業、2 鉱業・採石業・砂利採取業、3 総合工事業、4 職別工事業、5 設備工事業、6 食料品・たばこ製造業、7 繊維製品製造業、8 木製品・家具等製造業、9 紙製品製造業、10 印刷・同関連産業、11 化学工業・同類似業、12 金属工業、13 機械器具製造業、14 その他の製造業、15 電気・ガス・熱供給・水道業、16 情報通信業、17 道路貨物運送業、18 その他の運輸業、19 卸売業、20 飲食料品以外の小売業、21 飲食料品小売業、22 無店舗小売業、23 金融・保険業、24 不動産業、25 物品賃貸業、26 学術研究機関、27 専門・技術サービス業、28 飲食店、29 宿泊業、30 対個人サービス業、31 娯楽業、32 教育・学習支援業、33 医療業・保健衛生、34 社会保険・社会福祉・介護事業、35 複合サービス業、36 職業紹介・労働者派遣業、37 その他の対事業所サービス業、38 修理業、39 廃棄物処理業、40 政治・経済・文化団体、41 その他のサービス業、42 公務

## 健診情報

### 業態別リスク保有率の地域差指数－1の寄与度＜代謝＞

＜代謝のリスク保有率＞

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2019	0.009	0.003	0.061	0.012	0.002	▲ 0.004	0.003	0.004	0.015	▲ 0.000
2020	0.012	0.004	0.056	0.012	0.003	▲ 0.006	0.002	0.004	0.015	0.001
2021	0.011	0.004	0.059	0.012	0.003	▲ 0.004	0.001	0.002	0.015	0.000

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.004	0.001	▲ 0.020	▲ 0.008	0.000	0.007	0.008	0.003	0.064	0.027
2020	▲ 0.003	0.001	▲ 0.016	▲ 0.005	▲ 0.001	0.008	▲ 0.004	0.001	0.051	0.030
2021	▲ 0.002	0.001	▲ 0.012	▲ 0.006	▲ 0.000	0.006	0.002	0.003	0.061	0.038

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	0.025	0.006	0.003	▲ 0.011	0.001	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.000	0.001
2020	0.023	0.006	0.003	▲ 0.008	0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.002	0.001	▲ 0.001
2021	0.023	0.006	0.001	▲ 0.010	0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.003	0.002	0.001

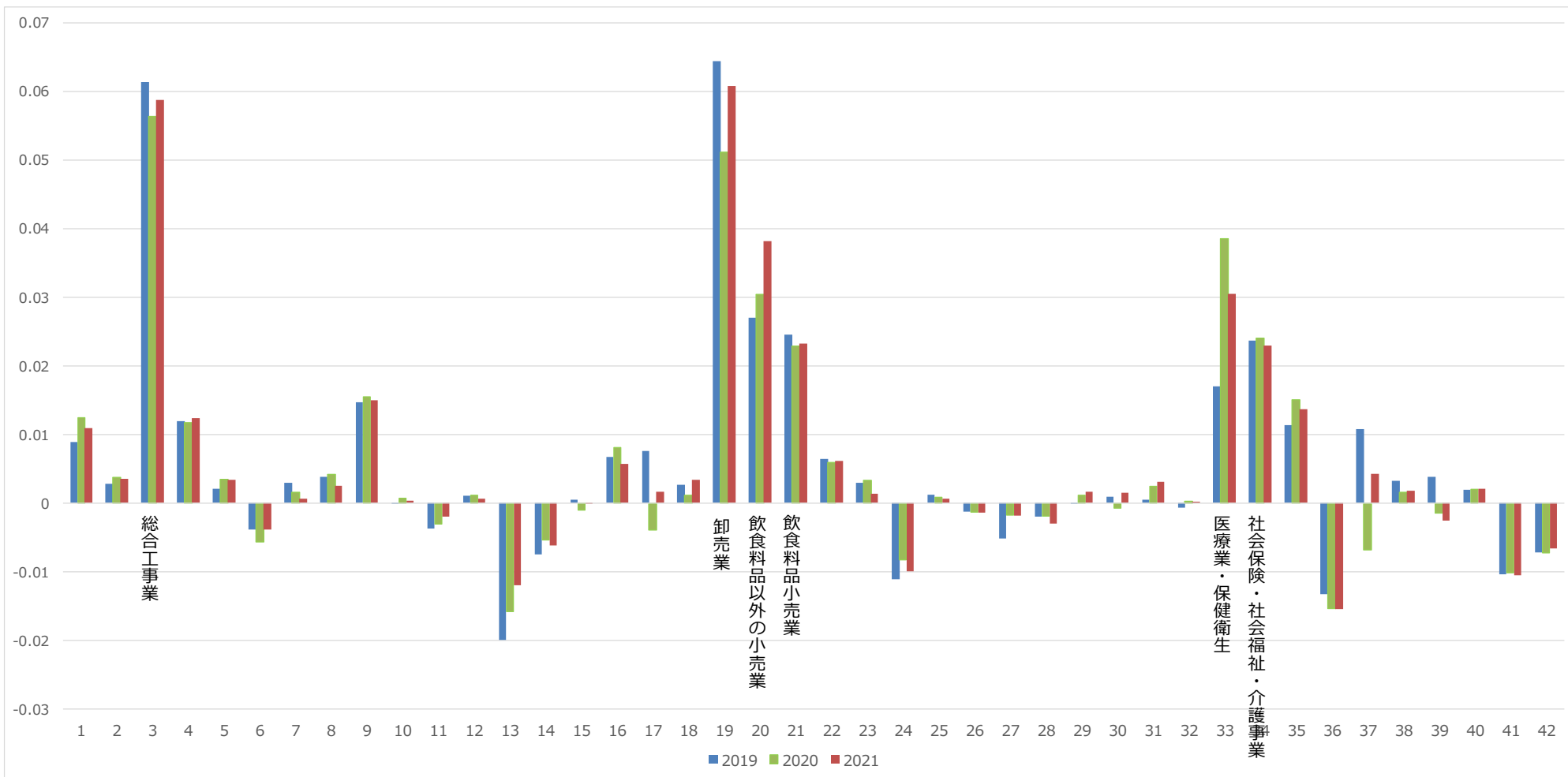
年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.001	▲ 0.001	0.017	0.024	0.011	▲ 0.013	0.011	0.003	0.004	0.002
2020	0.002	0.000	0.039	0.024	0.015	▲ 0.015	▲ 0.007	0.002	▲ 0.001	0.002
2021	0.003	0.000	0.031	0.023	0.014	▲ 0.016	0.004	0.002	▲ 0.003	0.002

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.010	▲ 0.007
2020	▲ 0.010	▲ 0.007
2021	▲ 0.011	▲ 0.007

- ※ 1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。
- ※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。
- ※ 3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数－1の寄与度の合計は血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数－1に一致しない場合がある。



### 業態別リスク保有率の地域差指数－ 1 の寄与度＜代謝＞



1 農林水産業、2 鉱業・採石業・砂利採取業、3 総合工事業、4 職別工事業、5 設備工事業、6 食料品・たばこ製造業、7 繊維製品製造業、8 木製品・家具等製造業、9 紙製品製造業、10 印刷・同関連産業、11 化学工業・同類似業、12 金属工業、13 機械器具製造業、14 その他の製造業、15 電気・ガス・熱供給・水道業、16 情報通信業、17 道路貨物運送業、18 その他の運輸業、19 卸売業、20 飲食料品以外の小売業、21 飲食料品小売業、22 無店舗小売業、23 金融・保険業、24 不動産業、25 物品賃貸業、26 学術研究機関、27 専門・技術サービス業、28 飲食店、29 宿泊業、30 対個人サービス業、31 娯楽業、32 教育・学習支援業、33 医療業・保健衛生、34 社会保険・社会福祉・介護事業、35 複合サービス業、36 職業紹介・労働者派遣業、37 その他の対事業所サービス業、38 修理業、39 廃棄物処理業、40 政治・経済・文化団体、41 その他のサービス業、42 公務

## ジェネリック医薬品使用状況

・ジェネリック医薬品使用割合は76.4%で全国43位（全国平均80.3% ▲3.9）

39高知	ジェネリック医薬品使用割	【医療機関の視点】					
		院内処方					
		院内処方ジェネリック医薬品使用割合				院内処方率	
		入院	外来	病院	診療所		
偏差値	37	36	43	35	49	32	47
指標	76.4	63.1	83.0	61.0	66.8	59.2	20.9
順位	43.0	44.0	34.0	45.0	32.0	46.0	28.0
県平均への影響度	-	-1.3	-0.0	-1.3	-0.0	-1.3	-

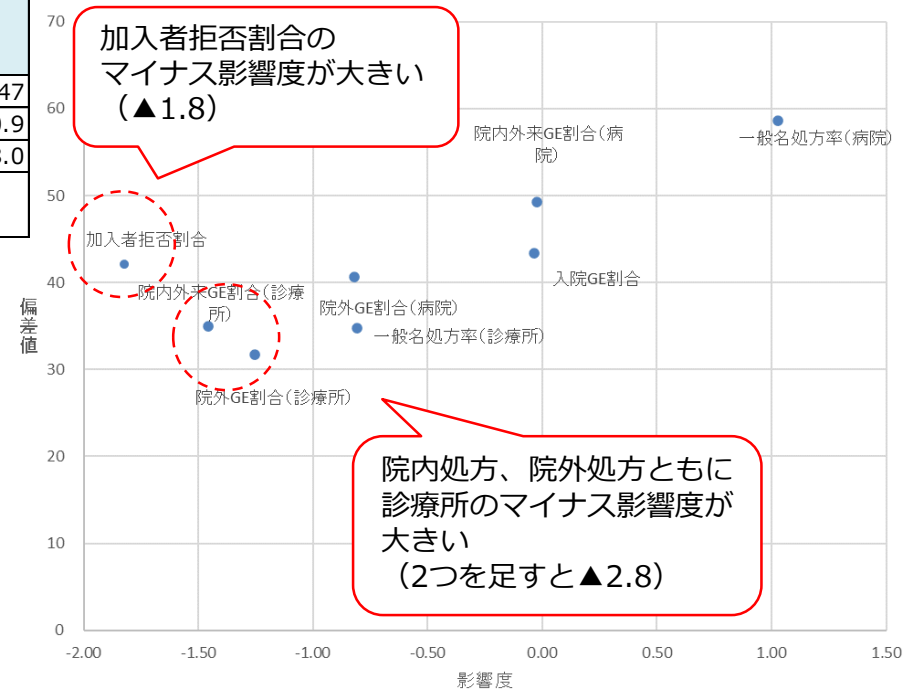
  

39高知	【医療機関の視点】					
	院外処方ジェネリック医薬品使用割合					
	院外処方ジェネリック医薬品使用割合			一般名処方率		
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所
偏差値	36	41	35	37	59	35
指標	79.7	80.0	79.4	52.9	49.0	55.3
順位	45.0	41.0	46.0	42.0	10.0	46.0
県平均への影響度	-2.5	-0.8	-1.5	-1.4	1.0	-0.8

39高知	【薬局の視点】			【患者の視点】		
	調剤ジェネリック医薬品使用割合	一般名処方限定調剤ジェネリック医薬品使用割合	院外処方率	加入者ジェネリック拒否割合	公費対象者ジェネリック医薬品使用割合	全保険者とのジェネリック医薬品使用割合の乖離
偏差値	36	37	47	42	57	41
指標	79.7	85.6	79.1	16.6	73.3	0.2
順位	45.0	45.0	28.0	40.0	17.0	38.0
県平均への影響度	-2.5	-	-	-1.8	0.2	-

### 診療種別



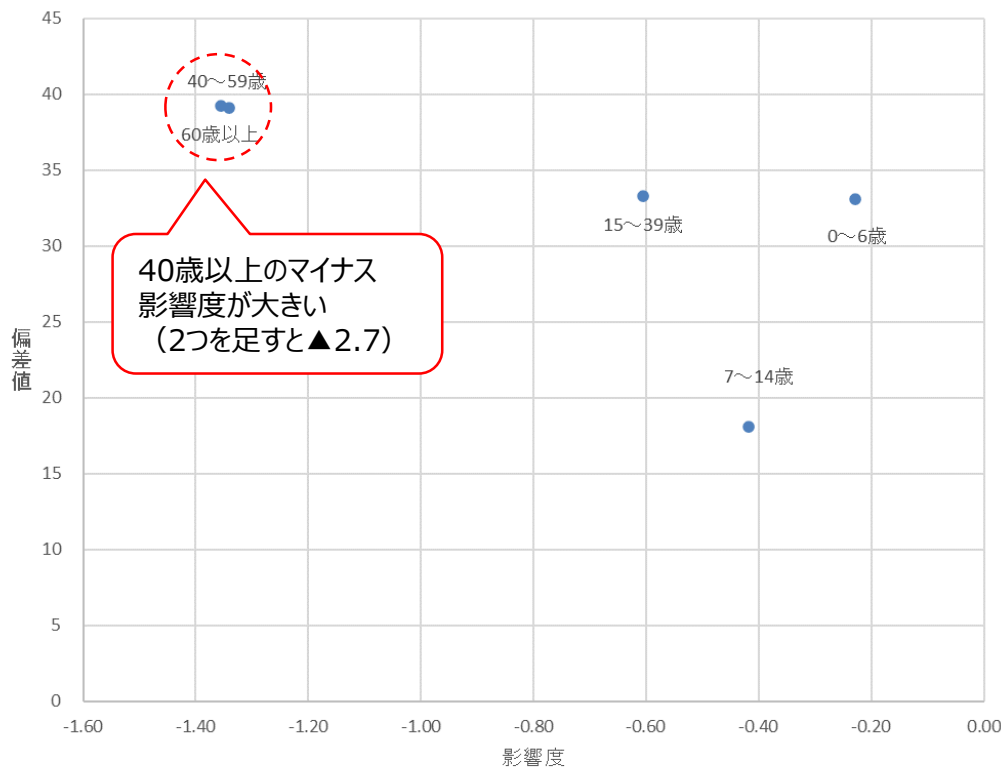
※県平均への影響度は偏差値50からの差分が、県全体のジェネリック医薬品使用割合に与える影響を示す。例えば、影響度が-1.0ならば、当該指標が県全体のジェネリック割合を1.0ポイント引き下げている。  
 ※一般名処方率は、一般名処方加算にヒモ付くレセプト数に基づいて算出している。（一般名処方加算1または2が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプトの数） / （調剤レセプトの数）  
 ※加入者拒否割合は、（調剤レセプトの加入者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数） / （一般名処方加算が存在する医科レセプトに、支部、記号、番号、性別、生年月日がヒモ付く調剤レセプト数）  
 ※一般名処方率、加入者ジェネリック拒否割合の影響度は、全国傾向に基づいた推計値のため、母数が少ない地域では大きな誤差が生じる可能性がある。  
 ※2021年10月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを集計対象とする。

## ジェネリック医薬品使用状況

### 年代別

年代別平均乖離影響度

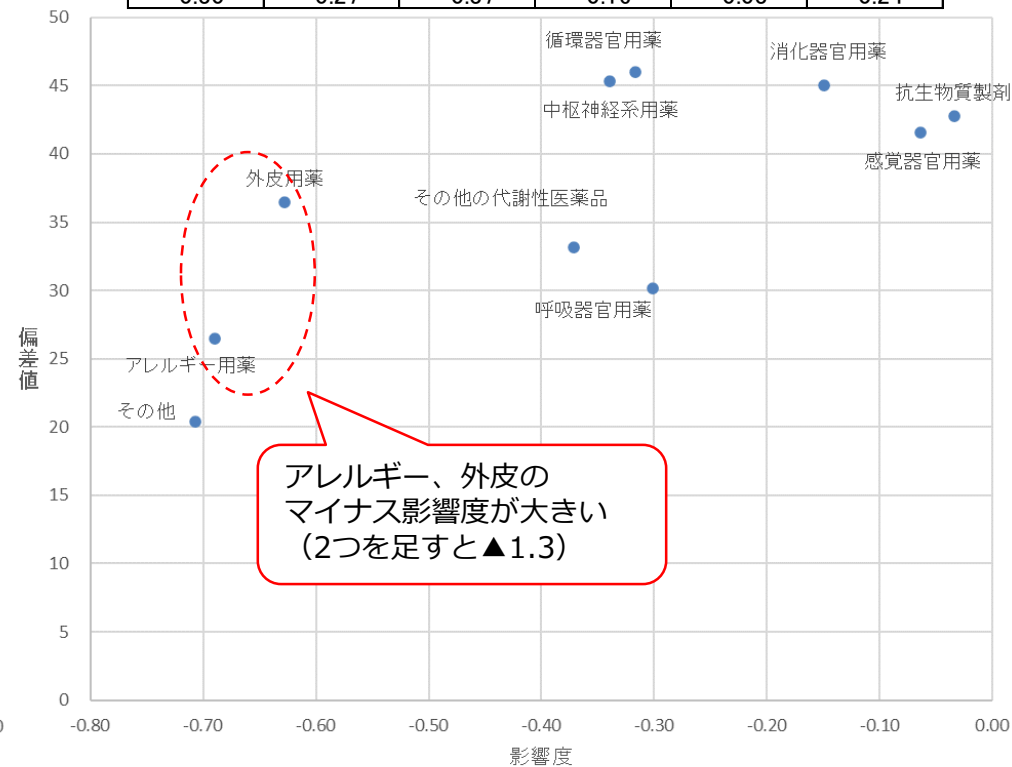
計	0～6歳	7～14歳	15～39歳	40～59歳	60歳以上
-3.94	-0.23	-0.42	-0.61	-1.34	-1.34



### 薬効別

薬効分類2別平均乖離影響度

計	循環器官用薬	消化器官用薬	中枢神経系用薬	外皮用薬	アレルギー用薬
-3.50	-0.32	-0.15	-0.34	-0.63	-0.69
呼吸器官用薬	血液・体液用薬	その他の代謝性医薬品	ビタミン剤	抗生物質製剤	その他
-0.30	-0.27	-0.37	-0.16	-0.03	-0.24



※県平均への影響度は偏差値50からの差分が、県全体のジェネリック医薬品使用割合に与える影響を示す。例えば、影響度が-1.0ならば、当該指標が県全体のジェネリック割合を1.0ポイント引き下げている。

※2021年10月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを集計対象とする。

No	健康課題
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎入院の一人当たり医療費（全国第5位）、受診率（全国第6位）が全国平均を上回る。</li> <li>・疾病分類別では、「損傷・中毒」、「循環器系」、「筋骨格系」が高い。</li> <li>・業態別では、「医療業・保健衛生」、「総合工事業」、「卸売業」が高い。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎問診結果では、飲酒習慣の要改善者割合が高い。（全国第2位）</li> <li>・飲酒日の1日当たりの飲酒量が、「毎日2合以上」または「時々3合以上」と回答した者の割合</li> <li>・日本酒1合（180m l）＝ビール・缶チューハイ500m l＝焼酎0.6号（110m l）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎健診結果では、代謝のリスク保有率が高い。（全国第1位）</li> <li>・業態別では、「卸売業」、「総合工事業」、「飲食料品以外の小売業」が高い。</li> <li>◎血圧・脂質・代謝の業態別リスク保有率では、特定の業態のリスク保有率が高い。</li> <li>・「卸売業」、「総合工事業」、「医療業・保健衛生」</li> </ul>

データヘルス  
計画

上位目標：壮年期（40歳～64歳）の脳血管疾患の発症を減らす

中位目標：壮年期（40歳～64歳）のⅡ度以上高血圧の割合がH28年度の5.0%（2,718人）より減る

中位目標：壮年期（40歳～64歳）の空腹時血糖値126以上の割合がH28年度の6.1%（3,316人）より減る

No	課題
4	<p>◎ ジェネリック医薬品使用割合は76.4%で、80%に届いていない。(令和3年10月診療分)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・院内処方、院外処方ともに診療所のマイナス影響度が大きい(▲2.8)</li><li>・加入者拒否割合のマイナス影響度が大きい(▲1.8)</li><li>・40歳以上のマイナス影響度が大きい(▲2.7)</li><li>・アレルギー、外皮のマイナス影響度が大きい(▲1.3)</li></ul>

## <課題 1>

<p>①課題</p>	<p>◎入院の一人当たり医療費（全国第5位）、受診率（全国第6位）が全国平均を上回る。          ・疾病分類別では、「損傷・中毒」、「循環器系」、「筋骨格系」が高い。          ・業態別では、「医療業・保健衛生」、「総合工事業」、「卸売業」が高い。</p>
<p>②これまでの取組と評価</p>	<p>&lt;これまでの取組&gt;          ・未治療者の重症化予防として、血圧値・血糖値のリスクの高い被保険者へ医療機関受診を勧奨。</p> <p>&lt;評価&gt;          ・未治療者の医療機関受診率は9.4%（令和3年度）と低迷しており、更なる医療機関受診率の向上策が必要となっている。</p>
<p>③今後の重点施策とその検証方法</p>	<p>◎高知支部の入院医療費が全国平均と乖離している状況を踏まえ、原因となっている傷病などを突き止め、病気の発症や重症化予防を重点的に実施する。          （高知支部では、心疾患や脳梗塞、関節症、骨折などの入院医療費が突出）</p> <p>&lt;今後の重点施策と検証方法&gt;</p> <p>①事業所訪問による重症化予防の協力依頼          ⇒ 未治療者の多い業態の事業所を訪問し、事業所トップから従業員に対して医療機関への受診勧奨をしていただくことについて協力を要請。</p> <p>②効果的なポピュレーションアプローチの実施          ⇒ 健診結果で判明した健康リスクを自分事として捉えてもらえるよう、加入者に向けた効果的な広報を実施。（各種メディアの活用や健診機関と連携したお知らせなど）</p> <p>[検証方法]          ・訪問事業所における未治療者の医療機関受診率を追跡。          ・健康保険委員やWebアンケートなどにより行動変容を集計。</p>

## <課題 2>

<p>①課題</p>	<p>◎問診結果では、飲酒習慣の要改善者割合が高い。(全国第2位)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒日の1日当たりの飲酒量が、「毎日2合以上」または「時々3合以上」と回答した者の割合。</li> <li>・日本酒1合(180m l) = ビール・缶チューハイ500m l = 焼酎0.6号(110m l)</li> </ul>
<p>②これまでの取組と評価</p>	<p>&lt;これまでの取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導において上手なお酒との付き合い方などを指導。</li> </ul> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒習慣に特化した指導ではないため、改善状況などは集計できていない。</li> </ul>
<p>③今後の重点施策とその検証方法</p>	<p>◎健康宣言事業所を中心に適切な飲酒習慣を周知する。</p> <p>&lt;今後の重点施策と検証方法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①過度な飲酒による健康被害を分析             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 分析結果は広報や特定保健指導に活用する。</li> </ul> </li> <li>②健康宣言事業所へのサポート強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 健康宣言事業所における健康づくりのサポートとして実施している、専門講師によるオンライン講座「上手なお酒との付き合い方」を飲酒習慣の多い事業所へ斡旋する。</li> </ul> </li> </ol> <p>[検証方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康宣言事業所へのアンケート</li> </ul>

## <課題3>

<p>①課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎健診結果では、代謝のリスク保有率が高い。(全国第1位)</li> <li>・業態別では、「卸売業」、「総合工事業」、「飲食料品以外の小売業」が高い。</li> <li>◎血圧・脂質・代謝の業態別リスク保有率では、特定の業態のリスク保有率が高い。</li> <li>・「卸売業」、「総合工事業」、「医療業・保健衛生」</li> </ul>
<p>②これまでの取組と評価</p>	<p>&lt;これまでの取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データヘルス計画の達成に向け、健康宣言事業所の拡大に取り組み、上記業態の宣言事業所数に占める割合は35%となっている。(663社のうち、230社)</li> <li>・大規模事業所や健康宣言事業所を中心に、健診や特定保健指導の実施、及び要治療判定者に対する受診勧奨について働きかけた。</li> <li>・訪問した30社のうち、18社において特定保健指導が実施された。</li> </ul> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康宣言事業所数は着実に増加しているが、事業所の抱える健康課題の改善に向けたフォローアップが十分にできていない。</li> </ul>
<p>③今後の重点施策とその検証方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎代謝リスク対策の強化</li> <li>・代謝リスク保有率の高い業態の事業所に対して重点的な介入を実施する。</li> <li>・健診や特定保健指導の実施率が低調な業種団体に対する協力依頼を実施する。</li> </ul> <p>&lt;今後の重点施策と検証方法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①上記の業態で代謝リスク保有者の多い事業所を抽出する。(重点介入事業所を選定)</li> <li>②当該事業所に対して勧奨文書や訪問等により事業所全体での健康づくりを推進していく。             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 当該事業所には、事業所カルテや代謝リスク解消に向けたリーフレットなどを用いて健康づくりの重要性を認識してもらい、健康宣言や特定保健指導受け入れなどをお願いしていく。</li> </ul> </li> </ol> <p>[検証方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介入事業所の特定保健指導実施率や未治療者の受診状況および新規宣言事業所の獲得数などで効果を検証する。</li> <li>・同一業態内での介入群と非介入群の代謝保有リスクの推移を比較し、効果を検証する。</li> </ul>



## <課題 4>

<p>①課題</p>	<p>◎ ジェネリック医薬品使用割合は76.4%で、80%に届いていない。(令和3年10月診療分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内処方、院外処方ともに診療所のマイナス影響度が大きい(▲2.8)</li> <li>・加入者拒否割合のマイナス影響度が大きい(▲1.8)</li> <li>・40歳以上のマイナス影響度が大きい(▲2.7)</li> <li>・アレルギー、外皮のマイナス影響度が大きい(▲1.3)</li> </ul>
<p>②これまでの取組と評価</p>	<p>&lt;これまでの取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種広報の実施。</li> <li>・調剤薬局を通じた、「今日から薬はジェネリック」と記載したお薬手帳ホルダーの配付。</li> <li>・各医療機関等のジェネリック医薬品使用割合や地域の使用実績を定期的にお知らせ。</li> <li>・医療機関、調剤薬局への訪問。</li> </ul> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度の伸び率は3.2ポイント、2021年度の伸び率は1.3ポイント。</li> </ul>
<p>③今後の重点施策とその検証方法</p>	<p>◎ 課題を踏まえた対象者を重点化した取組を実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県や高知市(国保)との連携</li> <li>・影響度の大きい業種への啓発</li> <li>・影響度が大きい医療機関を中心とした訪問</li> </ul> <p>&lt;今後の重点施策と検証方法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高知市内の院内、院外の診療所や病院の使用割合が低く、影響度も大きいことから、高知市の広報にタイアップ等連携を</li> <li>②健康保険委員を活用した周知広報</li> <li>③医療機関等へ訪問し、協会けんぽの取組を地道に訴えていく</li> </ol> <p>[検証方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①同一業態内での介入群と非介入群の使用割合の推移を比較し、効果を検証</li> <li>②訪問した医療機関における使用割合の推移を比較し、効果を検証</li> </ol>